

2010 年度 ECALGA 実用化セミナー
アンケートでお寄せ頂いたご質問・ご要望に対する回答

■セミナー実施日：2011 年 1 月 28 日（金）

■セミナー場所：ベルサール九段

■アンケートでお寄せ頂いたご質問・ご要望に対する回答

【環境情報・技術情報交換実証実験】

1. ECALS データ作成支援ツールでは、是非 CSV→XML、XML→CSV に変換する機能を実装して頂きたい。

→ECALS データ作成支援ツールの有効性及びデータ形式については、情報交換実証実験にて検証中です。平成 23 年度事業のなかで、実証実験評価及びユーザの要望を確認し、対応を検討します。

2. 実証実験には一部の大手企業のみが参加しているが、中小企業の実証実験参加は考えられていないのでしょうか？

→EC センターでは、中堅・中小企業の方にも ECALGA を活用して頂くための諸施策を講じています。今回の実証実験においては、データ作成やデータ交換のツールを準備しております。現在、これらのツール、機能を利用して参加頂ける中堅・中小企業ユーザを募集中です。今後も中堅・中小企業の利便性向上のための活動を継続してまいります。ご相談にも応じますので、JEITA EC センターの活動に是非ご参加下さい。

【海外取引モデル事例紹介とビジネスガイド紹介】

1. 図面や仕様書を海外へ送受信しているとのことでしたが、図面や仕様書は役務にあたるため役務審査対応が必要と思います。その対策はできているのでしょうか？

→ 図面や仕様書の役務審査対応は、送信する側の企業様にて事前に社内で輸出手続、審査をしていただき、その結果、問題ない場合に EDI で送信していただく運用となります。このため、EDI サービスとして、役務審査対応の機能を装備はしていません。
(回答：EDI サービス事業者)

2. ビジネスガイドの提供は、EC センター会員企業のみではなく、より多くの方へ公開された方が良いのではないのでしょうか？

→ 当面を会員企業への公開とし、更にブラッシュアップを図った後、一般公開する予定です。より良いビジネスガイドとするため、是非、EC センター会員となり、委員会等へ参加し、標準化活動へのご協力をご検討下さい。

3. 国際取引、国際性の標準を普及するのなら、なぜ CEFACT 標準を採用しないのでしょうか？
- EC センターの標準化の基本は、単にメッセージを決めるだけでなく、ビジネスモデルに基づいたメッセージの運用方法や項目の活用方法など、業務面での標準化を重視しております。シンタックスには特に拘ってはおらず、ECALGA ベースで標準化を行っております。この考え方を堅持していれば、CEFACT 等、他の標準との互換性も容易であると考えております。
4. Web-EDI で多画面問題が発生していないのでしょうか？
- EC センターでは、「Web-EDI ガイドライン」を発行し、多画面現象の解消に努めております。

【情報技術委員会の活動紹介】

1. JEITA 標準クライアントの動作環境が XP では SP2.0 とのことですが、SP2.0 はセキュリティパッチの配信が停止しており、SP3.0 での利用が必須となるため、SP3.0 対応を検討して頂きたい。
- 既に SP3.0 にも対応済みです。
2. Web-EDI 認定 OK となった場合、何のメリットがあるのか？ Web-EDI は高度に普及されており、認定制度がどんな影響を与えるのかが理解できませんでした。
- Web-EDI 認定制度の必要性が今一つ理解できない。認定されることのメリット、認定されない場合のデメリットを明確にすると分かりやすいのでは。
- Web-EDI 認定制度は、ユーザの利便性の向上を図ることが目的です。多画面現象等の過度の不便さ、使い勝手の悪さ等の問題が発生しないよう対応することが望ましい事項についてガイドラインに記載しております。認定された Web-EDI であればユーザが安心してご利用いただけます。

【IBIS Quality Framework】

1. デバイスによって IBIS でも入手が困難なものもあると思います。これらの入手困難なデバイスの IBIS モデルの登録について、EC センターさんからチップベンダへの働きかけ等は行っているのでしょうか？
- チップベンダにとっても IBIS Quality Framework は業務効率上、有用であるので、積極的にご協力頂いております。

以上